



平成 21 年 1 月 28 日

各位

株式会社 ストリーム  
代表取締役社長 劉 海濤  
(コード番号:3071 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役副社長 竹下謙治  
(TEL03-5256-7684)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 3 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

平成 21 年 1 月期通期業績予想の修正(平成 20 年 2 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日、単位:百万円、円)

#### (1) 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	33,316	567	578	341	7,980.39
今回修正予想(B)	29,620	206	231	140	3,018.95
増減額(B - A)	3,696	361	347	201	4,961.44
増減率(%)	11.1%	63.6%	60.0%	58.9%	
ご参考： 前期実績	28,094	443	443	272	6,420.53

#### (2) 個別業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,500	516	515	304	7,107.18
今回修正予想(B)	27,924	164	193	106	2,223.26
増減額(B - A)	3,576	352	322	198	4,883.92
増減率(%)	11.3	68.2	62.5	65.1	
ご参考： 前期実績	26,463	379	377	216	5,103.38

#### (3) 修正の理由

世界的な金融危機が实体经济を下押しし、世界同時不況の様相を呈した経済情勢の中、日本国内における個人消費は生活防衛の色彩を強めました。

このような厳しい局面においてローコストオペレーションを得意とする当社はネット通販に対する特性を最大限に発揮すべく商機と捉え、第三四半期末には過去最大量の在庫を備え積極販売の姿勢で年末商戦に臨んだ結果、20 年 12 月の受注件数は約 94,000 件と前年同期比 18%増加し月間の新規顧客登録件数も過去最高となりました。

一方、消費の減退は予想以上のものがあり、又、家電量販店を含めた競合他社との苛烈な販売競争に

直面し、商品の販売単価は大幅に下落し売上高が予想を下回る見通しとなりました。

当社と致しましては、このような収益及び収益環境の悪化を踏まえ機会損失のより以上の拡大を避けるため、早期に在庫を処分するなどの対応を実施し財務の健全性に配慮致しました。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益も予想を大幅に下回る見通しとなりましたので、21年1月期通期業績予想を連結・個別ともに修正いたします。

以上